

## 変形性膝関節症に対する保存療法の治療成績に関する 後ろ向きおよび前向き観察研究

### 研究に関する情報の公開

研究議題名	変形性膝関節症に対する保存療法の治療成績に関する 後ろ向きおよび前向き観察研究
研究方法	観察研究
研究の対象	2023 年 10 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの間に当院を受診し、変形性膝関節症に対して治療を受けられた方。
研究期間	倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日まで。
研究目的	<p>変形性膝関節症は膝痛や機能障害の主要な原因であり、歩行能力の低下や日常生活動作の制限、生活の質の低下に直結します。保存療法から手術療法まで幅広いですが、保存療法の成績や、どのような方が保存療法で改善が得られやすいのかと行ったことは十分にはわかっていません。</p> <p>本研究では、当院で変形性膝関節症に対する治療を受けられた方を対象に、質問票で聴取した症状や関節可動域の変化を調査し、改善に関連する要因を探索します。本研究は変形性膝関節症の治療成績の実態や関連因子を明らかにすることでその成績向上に寄与することが期待されます。</p>
研究概要	<p>カルテより、下記の情報を収集します。治療前後でこれらの推移を明らかにするとともに、症状の変化に関連する因子を検討します。これらの項目は通常の診療の一環として診療録に記載されているものであり、本研究の参加によって特別に追加して収集する項目はありません。</p> <p>個人情報の取扱い：収集した情報は研究用 ID を付与し連結可能匿名化して管理します。対応表は研究データと分離して保管し、研究関係者のみにアクセスを限定します。</p> <p>カルテから収集する項目： 質問票（Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score、</p>

	Central Sensitization Inventory)、関節可動域、画像所見（レントゲン、MRI など）、背景情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患）
研究体制	東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック 整形外科 黒坂 健二、渡部 直人  同 リハビリテーション科 久 光佑、野尻 周佑
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。  東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック リハビリテーション科 理学療法士・久 光佑 〒136 - 0071 東京都江東区亀戸 5-1-2 LIV 亀戸 2 4F TEL：03-5875-5765